| **がん医療の充実（医療機関の連携・協力体制の整備）**  第二期大阪府がん対策推進計画の取組み状況について  資料３ | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **第二期計画における取組目標** | **第二期計画初年度（Ｈ25）の主な取組** | **２６年度の主な取組** | **２７年度の主な取組（Ｈ28.3末現在）** | **２８年度からの取組案** |
| **（１）オンコロジーセンター構想の推進**  ○　オンコロジーセンター構想に基づき、府立成人病センター及び大学病院の有するオンコロジーセンター機能のより一層の積極的活用を図り、がん患者に対する医療提供の充実を図ります。  **（２）がん拠点病院を中心とした地域連携体制の推進**  ○　国指定拠点病院及び府指定拠点病院の各病院毎の役割分担を明確にし、国指定拠点病院を中心とした二次医療圏毎の地域特性を踏まえた地域医療ネットワークを構築します。  **（３）地域の実情に応じた地域連携クリティカルパスの推進**  ○　地域連携クリティカルパスについて地域の実情に応じた普及を図るため、引き続き、パスの活用状況等についての実態把握を行い、在宅医療の充実につながるよう、がん診療連携協議会において活用方策の検討を行います。 | **○拠点病院のあり方について**  ・拠点病院制度については、国が25年度に制度改正  主な変更点（府関係部分）  ・地域がん診療連携拠点病院等指定要件の厳格化  （術中病理診断の実施、緩和ケア提供体制の強化、人材配置要件の厳格化、診療実績要件の厳格化、相談支援体制の充実など）  ・がん診療提供体制に関するＰＤＣＡ体制の構築  など  ・国の通知を受け、がん診療拠点病院部会において方針を決定の上、拠点病院の募集事務等を行っている。  **○地域連携の取組**  ・国拠点病院が事務局となって、二次医療圏毎にネットワーク協議会を設置（平成24年度）  平成25年度も引き続き各地域で開催  〈開催状況〉  豊能:２回(7/9、2/27)、三島:１回(1/29)  北河内:1回(6/6)、中河内:１回(2/26)  南河内:１回(2/12)、堺市:２回(9/26、2/13)、  泉州:２回(6/27、2/6)、大阪市：１回(2/19)  **○地域連携クリティカルパスの推進**  ・がん診療連携協議会「地域連携クリティカルパス部会」で活用方策を検討  がん診療連携協議会　パス部会  （7/3、1/29）  パス促進会議（11/3） | **○がん拠点病院を中心とした連携体制の強化**  ・がん拠点病院の指定状況  国指定拠点病院　16か所(H26新規指定2か所)  府指定拠点病院　44か所  ・府指定拠点病院の要件見直し  がん診療提供体制の一層の充実・強化を図るため、国の指定要件を踏まえ、指定要件を改正  ・大阪府がん診療連携協議会の運営  府立成人病センターを事務局として、国・府指定拠点病院で構成する協議会及び専門部会を運営し、診療連携体制やがん登録、地域支援クリティカルパス整備などについて協議・検討  **○地域連携の取組**  ・二次医療圏毎に、国拠点病院が事務局となり、府拠点病院、地区医師会、市町村など関係者の参画によるネットワーク協議会を設置・運営  〈開催状況〉  豊能:2回(6/19、2/26)、三島:1回(1/29)  北河内:1回(10/16)、中河内:1回(12/18)  南河内:1回(2/25)、堺市:2回(9/30、3/19)、  泉州:2回(7/3、2/12)、  大阪市:2回(6/30、12/4)  **○地域連携クリティカルパスの推進**  ・がん診療連携協議会「地域連携クリティカルパス部会」で活用方策を検討  がん診療連携協議会　パス部会（7/9、1/28）  パス促進会議（6/6、11/7） | **○がん拠点を中心とした連携体制の強化**  ・がん拠点病院の指定状況  　国指定拠点病院　17か所  　府指定拠点病院　45か所  ・大阪府がん診療連携協議会の運営  府立成人病センターを事務局として、国・府指定拠点病院で構成する協議会及び専門部会を運営し、診療連携体制やがん登録、地域支援クリティカルパス整備などについて協議・検討  ・大阪府、都道府県がん診療連携拠点病院等によるがん診療拠点病院の訪問・意見交換等を実施　5病院  **○地域連携の取組**  ・二次医療圏毎に、国拠点病院が事務局となり、府拠点病院、地区医師会、市町村など関係者の参画によるネットワーク協議会を設置・運営  〈開催状況〉　※ほかに部会等の開催実績あり  豊能：2回(6/4、2/25)、三島：1回(1/28)  北河内：1回(3/28)、中河内：2回(7/2、3/3)  南河内：1回(3/9)、堺市：2回(9/24、3/3)  泉州：2回(7/2、2/4)、  大阪市：2回(6/30、12/3)  ・地域医療介護総合確保基金を活用した地域連携事業の実施によるネットワーク協議会活動の充実を図る  〈補助金交付二次医療圏〉　５圏域　4,978千円  　　　 　豊能(市立豊中病院)、中河内(八尾市立病院)  　　　 　南河内(大阪南医療センター)、  　　　 　堺市(堺市立総合医療センター)、  　　 　　大阪市(大阪市立総合医療センター)  **○地域連携クリティカルパスの推進**  ・がん診療連携協議会「地域連携クリティカルパス部会」で活用方策を検討  　　　 がん診療連携協議会　パス部会(7/1、2/10)  　　　 パス促進会議(6/17、11/11)  　　・胃がん、大腸がん、肺がんについて大阪府統一パスの改訂⇒平成28年度より改訂版の使用開始 | **○がん拠点を中心とした連携体制の強化**  ・府指定拠点病院の経過措置病院については指定更新審査を実施  ・大阪府がん診療連携協議会と連携し、さらなる医療提供の充実を図る  ・大阪府、都道府県がん診療連携拠点病院等によるがん診療拠点病院の訪問・意見交換等を実施  **○地域連携の取組**  ・各圏域のネットワーク協議会において現状や課題を共有し関係機関間での連携強化を図る  ・地域医療介護総合確保基金を活用した地域連携事業の実施によるネットワーク協議会活動の充実を図る  　　 　H28予算　８圏域　8,000千円  **○地域連携クリティカルパスの推進**  ・がん診療連携協議会においてクリティカルパスの運用状況把握や運用促進に向けた取組みを進める |

| **がん医療の充実（集学的治療の推進）** | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **第二期計画における取組目標** | **第二期計画初年度（Ｈ25）の主な取組** | **２６年度の主な取組（Ｈ27.3末現在）** | **２７年度の主な取組（Ｈ28.3末現在）** | **２８年度からの取組案** |
| **（１）がん拠点病院における集学的治療の推進**  ○　５大がんとともにそれ以外のがんについても、集学的治療の実施状況、受療状況、専門医・専門看護師数等を把握し、各がん拠点病院の役割分担や地域連携状況を考慮し、適正配置について検討します。  **（２）専門的人材の育成**  ○　オンコロジーセンター構想に基づき、大学病院等が中心となって地域の医療資源を踏まえ、がん医療に係る専門的人材の育成の充実を図ります。 | **○がん拠点病院におけるがん医療の実態把握**  現況報告（平成24年度）の検討  　〈検討内容〉  ◆医療従事者について  ・がん診療拠点病院で化学療法に携わる医師数は、病理診断や放射線療法の医師数より多く、常勤の割合が高いが、「専従+専任」の割合は30.3％と低い（表1）。  ・年間のがん罹患1000人当たりの医師数を医療圏間で比較すると、化学療法診療医師数が府平均を大幅に下回るのは、北河内、中河内医療圏。放射線療法・病理診断医師数が府平均を下回るのは、北河内、中河内、堺医療圏（表2-4）。  ◆医療機器装置について  ・外部照射装置のがん罹患1000人当たりの設置台数、および乳がんの組織生検で用いられるマンモトームの乳がん罹患1000人あたりの設置台数が府平均を下回るのは、北河内、中河内、南河内、堺医療圏（表5）。 | **○がん拠点病院における集学的治療の推進**  ・国指定拠点病院（16か所）  年間新入院がん患者数 　73,133人  悪性腫瘍手術件数 25,870件  放射線治療のべ患者数 8,764人  外来化学療法のべ患者数 75,739人  ・府指定拠点病院（小児がん除く43か所）  年間新入院がん患者数 　67,271人  悪性腫瘍手術件数 26,431件  放射線治療のべ患者数 6,716人  外来化学療法のべ患者数 56,305人  **○がん医療提供体制充実強化**  ・がん拠点病院に対し、がん医療の水準向上に資する施設・設備の整備に対し補助（地域医療介護総合確保基金）　　19病院　　457,451千円  **○人材の育成**  　・府立成人病センター・大学病院など国指定拠点病院の研修実施による人材育成（がん診療連携拠点病院機能強化事業） | **○がん拠点病院における集学的治療の推進**  ・国指定拠点病院(小児がん除く17か所)  　　　　年間新入院がん患者数　78,061人  　　　　悪性腫瘍手術件数　　　28,634件  　　　　放射線治療のべ患者数　　9,516人  　　　　外来化学療法のべ患者数　88,786人  　・府指定拠点病院(45病院)  　　　　年間新入院がん患者数　72,845人  　　　　悪性腫瘍手術件数　　　27,035件  　　　　放射線治療のべ患者数　　7,438人  　　　　外来化学療法のべ患者数　56,205人  **○がん診療施設設備整備**  ・地域医療介護総合確保基金を活用したがん診療施設設備整備事業の実施  　　　　　16病院　191,446千円  **○人材の育成**  ・府立成人病センター・大学病院など国指定拠点病院の研修実施による人材育成（がん診療連携拠点病院機能強化事業） | **○がん拠点病院における集学的治療の推進**  ・がん拠点病院指定制度運用による集学的治療の推進  **○がん診療施設設備整備**  ・地域医療介護総合確保基金を活用したがん医療提供体制充実強化事業の実施  　　　H28予算　216,000千円  **○人材の育成**  ・府立成人病センター・大学病院など国指定拠点病院の研修実施による人材育成（がん診療連携拠点病院機能強化事業） |